

目標達成計画

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4 (3)	運営推進会議のメンバーを限定せず呼びかけの幅を広げたり、事業所の行事に合わせて開催する等の工夫により、サービス利用の当事者である利用者家族等が参加しやすい会議となる。	多くの家族や入居者、様々な地域の方が参加する運営推進会議にする。	まずはご家族に運営推進会議というものがどういうものかを理解していただく為、今年度4月より、会議の開催ごとに議事録を送付する。そして家族参加行事はもちろんだが、他にもご家族を行事に誘導して会議にも参加して頂く。	12ヶ月
2	26 (10)	日頃より利用者や家族の意向を把握する努力をしているが、把握した意向を職員間で共有し、より一層計画に反映させるために把握した意向等の記録を充実させる。	ご家族の意向が間違いなく職員に伝わり、全職員の共通認識と成りうるツールを完成させる。	今までは、ご家族からの要望や相談事があった際にどのように解決したかを周知出来ていなかった。「相談要望受付票」を作成し、解決方法を記録して全職員に周知するようにしたところ、以前よりも職員の中でご家族の要望をくみ上げる意識が高まったと思われる。今後も全職員が過去の解決内容を読むことで相談要望に対応出来る職員になっていくようツールの変更も視野に入れて取り組んで行く。	12ヶ月
3	33 (12)	入居時の退居要件の説明にとどまらず、身体状況の変化等の状況に応じ、都度本人、家族と今後について話し合う機会を持つ。	入居時や身体状況変化時に、ご家族に今後の入居者の状況等を話し合う事で、入居者・ご家族が安心して過ごせる。	入居時には、新たに作成した具体的な退居要件を提示、説明する。そして状態の変化があった時には話し合いをもって状態変化以降も安心して頂けるよう対応する。そのことは「相談・要望受付票」に記録する。(すでに実施している)	0ヶ月
4	33 (12)	事業所として、どこまでグループホームで対応できるかを職員の資質向上を含めて検討してほしい。	職員の資質向上及び主治医と連携して、長くグループホームで暮らして頂く。	職員に対し緊急時の対応の勉強会を定期的に行い、入居者の状態変化時には入居者の個別の対応を話し合い、且つ主治医と連携して対応することとし、長くグループホームで暮らして頂けるよう努める。	12ヶ月
5					ヶ月